

議事録	
件名	第1回にかほ市風力発電に係るゾーニング推進協議会 議事録
日時	平成30年12月14日(金) 14:00~16:10
場所	にかほ市象潟庁舎 大会議室
出席者	・にかほ市風力発電に係るゾーニング推進協議会会員名簿
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・会員名簿 ・設置要綱 ・にかほ市風力発電に係るゾーニング実証事業委託業務仕様書 ・資料1: 事業の概要 ・資料2: 市内再生可能エネルギー施設一覧 ・資料3: ゾーニング実証事業スケジュール ・第1回協議会資料 ・既存情報の収集、整理の補足資料 ・景観調査の補足資料
結 果	
<p>1. 既存情報の収集、整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【加藤委員】にかほ市は、湧水が多く、鳥類の水飲み場や溜池となる。また、岩牡蠣も湧水の恩恵を受けている。風力発電施設を設置する際、土の掘削が行われるため、湧水を断ち切る可能性があるため、水脈に影響がないようにしてほしい。 ⇒【丸山会長】地下水脈の地図等既存情報があれば整理すると良い。 ・【丸山会長】既存情報の収集、整理についての説明で、「騒音、風車の影など」の分類の利用条件として、「にかほ市における風力発電施設建設に関するガイドライン」を参考にしているとのことだが、500mが保全エリアの一つの指標となっている根拠は何か。 ⇒【事務局】NEDOのガイドラインを参考にしている。 ⇒【丸山会長】既存の音の大きい風車について、環境省がレポートを公表しており、それを参考にすると良い。 ⇒【中村副会長】小型風車は回転が速く、騒音の値が大きくなると思われるので、500mで問題ないかが気になる。 <p>2. ゾーニングマップ(素案)の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【丸山会長】ゾーニング対象範囲は、にかほ市全域か。 ⇒【事務局】市全域で考えている。協議会における協議の上で、対象エリアが限定される可能性はある。 ⇒【丸山会長】ここで、住民の声をどのように反映させるか。住民説明会等は行う予定か。専門家だけでゾーニングの線引きはできない。住民の声を聞いて決めてほしい。 ⇒【事務局】パブリックコメントを行う予定である。ただ、ご指摘も踏まえ、別途住民の声を聞く機会を検討していきたい。 ・【丸山会長】エリアの判断基準はどのように考えているか。 ⇒【国際航業】協議会を通じて決めていきたいと考えている。 ⇒【丸山会長】考え方としては、最初は安全側にエリア設定を行い、そこから協議を踏まえてエリアを修正していくと良い。 ・【丸山会長】ゾーニング結果を条例等で制度化するのか、それとも住民や事業者に把握してもらうためのものとして活用するのかを今後協議していきたい。 <p>3. 鳥類調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【加藤委員】鳥類調査の説明の中で、渡り鳥の既存情報の中に入っていなかったが、コクガンもにかほ市に飛来する。また、希少猛禽類についての既存情報の中に入っていなかったが、ミサゴもにかほ市に飛来すると考えられるので、調査時は注意してほしい。 ・【加藤委員】鳥類調査の春季は、渡り鳥が集結し始める3月も調査してほしい。オオルリ等は4月からの調査時期が良い。 ⇒【丸山会長】渡りのタイミングを逃さないように注意して調査を行ってほしい。 ・【丸山会長】既存情報で名前の挙がった生物が、調査時に観測できなかった場合の取り扱いについて、有識者等(本日欠席の星崎准教授等)の意見を踏まえて安全側に見てほしい。 	

4. 景観調査

- ・【丸山会長】フォトモンタージュまで作成するということであるが、ゾーニングにおいては細かく検討をし過ぎではないか。まずは市の景観条例を用いたり、垂直視野角と見え方の関係から景観に影響を与える距離を算出することも考えられる。もしくは、Google ストリートビュー等の視点場を自由に移動できるAR技術を活用することも考えられるため、検討すると良い。
- ・【中村副会長】蛸満寺（カンマンジ）が抜けている。山門の後ろに風車があると気になる。
- ・【丸山会長】にかほ市景観計画の状況はどうなっているか。
 - ⇒【土門委員】来年12月に完成し、再来年の3月までに条例化を目指している。内容は構造物の高さ制限がメインとなる見込みである。
- ・【丸山会長】既存の風車に対する景観影響（景観阻害の度合いや苦情等）について整理する必要がある。
- ・【丸山会長】エリアが決まった最後の段階で、風車の見え方を検討するツールとしてフォトモンやVRを用いたらどうか。生活者の視点としては住まいからの見え方に興味がある。視点場を自由に選べるVRがよいのではないか。
 - ⇒【事務局】今年度はフォトモンタージュを作成し、来年度以降にVRを活用することを考えていきたい。
 - ⇒【丸山会長】今年度もVRを並行して検討してほしい。
 - ⇒【事務局】並行して検討する。
 - ⇒【国際航業】風車の配置については、今年度ではなく、ゾーニングがある程度進んだ段階で決めたいと考えている。もし今年度に風車配置を行った結果を示すと、誤った解釈が地域住民に伝わってしまう可能性がある。地域住民の意見を踏まえて検討していきたい。
 - ⇒【土門委員】にかほ市景観計画の検討の中で、住民アンケートを行った。集計ができれば、本協議会でも報告したいと考えている。『広報にかほ No. 318』（にかほ市の広報誌）でも一部概要を公開している。

5. 今後のスケジュール

- ・【事務局】第2回協議会は、1月中旬頃に開催予定である。また、第3回協議会は、2月下旬頃に開催予定である。

6. その他

- ・【中村副会長】既ににかほ市内に風力発電施設が立っているため、それにより地域住民がどのように感じているかについて意見を把握するべきである。
- ・【中村副会長】騒音調査は実施する予定はあるか。
 - ⇒【事務局】来年度実施するかを検討する。
- ・【中村副会長】落雷の影響について、にかほ市内で風力発電事業を行っている事業者を確認すると良い。
 - ⇒【事務局】市内の精密機械の工場でも心配の声がある。一方で、発電事業者は落雷の影響について検討を行っておらず、風力発電施設と落雷の因果関係は分からない状況である。
- ・【丸山会長】地域にとってのメリットを3年目に協議する予定と資料には記載されているが、2年目から協議をすると良い。
- ・【中村副会長】騒音は風下でより感じやすい可能性がある。
 - ⇒【丸山会長】騒音の影響があると言われている範囲で、実際に住民はどのように感じているのかをヒアリングすると良い。
- ・【加藤委員】「にかほ市における風力発電施設建設に関するガイドライン」で10kW未満の風車は対象外としているが、今回の実証ではどのように扱うか。
 - ⇒【丸山会長】本業務では下限を設けなくても良い。ガイドラインを今後どうするかは別途にかほ市のほうで考えてほしい。
- ・【丸山会長】にかほ市を対象とした環境モニタリング結果のレポートがNEDOから公表されているので参考にしてほしい。

以上